

# 令和5年度 総合評価落札方式の取り組みについて

---

令和 5年 5月

 国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部 品質確保室

## ( 工事関係 )

1. 技術提案における提案項目数の制限について
2. 現場技能者の配置に係る対象資格の追加について
3. 同種工事实績の柔軟な設定について
4. 「表彰」名称の変更

# 1. 技術提案における提案項目数の制限について

- 技術提案において、目的の効果を上げるために密接な関連性がある内容として多数の項目を提案する者と、目的を絞り提案する者とは、実質的な差が生じる事になり、評価の公平性に疑義が生じる場合がある。
- 入札参加者の提案書作成の負担や、履行費用削減のほか、現場での履行時の負担軽減を図るとともに競争性を確保するため、技術提案項目数等の上限設定を行う。

## 【提案項目の考え方】

現行では、1つの着目点に対し1つの技術提案を評価する事を原則としているが、目的とする効果を上げる手段として、提案相互に密接に関連する内容であれば複数の工法が含まれる場合においても評価対象として認めている。

現状、技術提案の高度化、工法の多様化に伴い複数の工法を含めた技術提案をなされている。

今後は、密接に関連性があると認められる場合でも、提案項目の評価の対象は記載の順に2項目までとする。また、提案内容の評価の対象も記載の順に2つ目までとする。

## 【一連提案として項目を記載する場合】

1つの提案項目における工夫点の記載について、2つの技術(工夫点)を組み合わせることで、技術提案の効果が高くなる場合に限り1提案内で提案できる技術(工夫点)を2つまでとすることが出来る。ただし、①□□□□、②△△△と明示すること。評価は記載順に2つめまでを評価の対象とする。

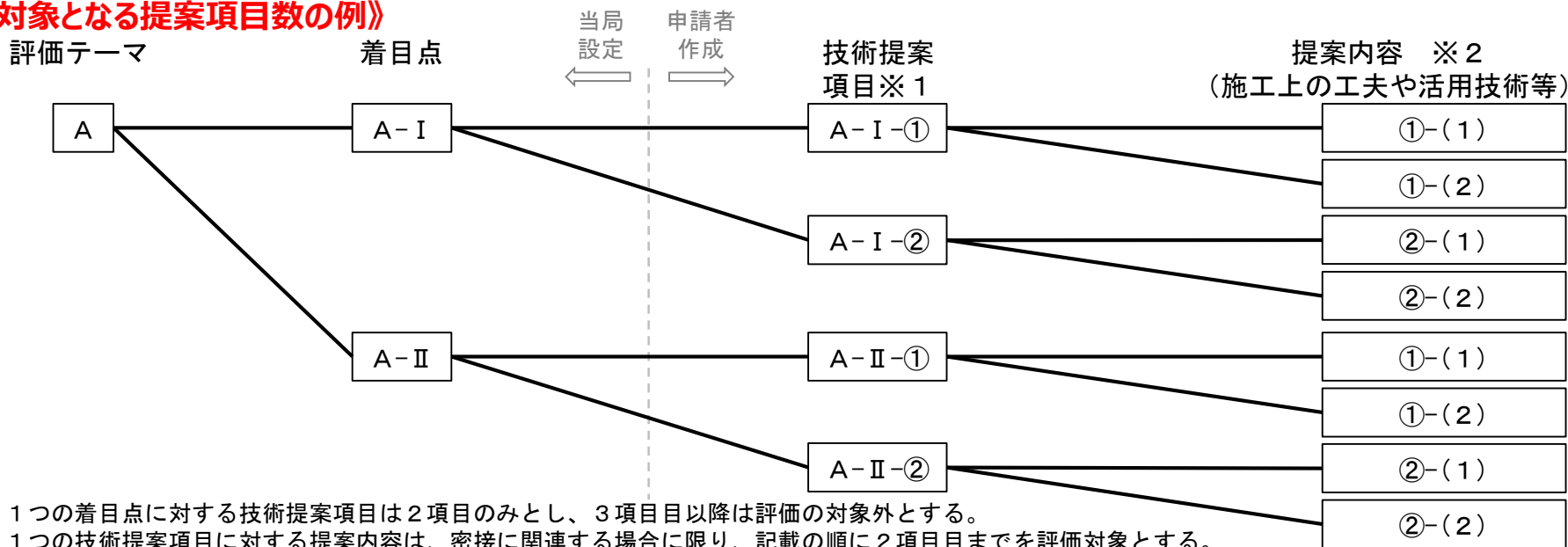
例) コンクリート養生において、“①湿潤マット”で保湿し、“②遮熱シート”により急激な温度上昇を抑制することで、コンクリート強度低下および、ひび割れ対策の効果を高める。

※ 工夫点に関する3つ目以降の記載については評価対象外とするが、履行義務が生じるので注意すること。

※ 一連提案と判断されない場合は、最初に記載した①のみを評価の対象とする。

# 1. 技術提案における提案項目数の制限について

## 《評価対象となる提案項目数の例》



※1：1つの着目点に対する技術提案項目は2項目のみとし、3項目目以降は評価の対象外とする。

※2：1つの技術提案項目に対する提案内容は、密接に関連する場合に限り、記載の順に2項目目までを評価対象とする。

## 《本体工事における提案項目評価例》

【着目点】：鉄筋コンクリートの品質確保に関する施工方法の工夫について（※但し、コンクリートの混和剤の添加行為は除く）

【技術提案】：コンクリートの確実な充填・締固を行い、かつコールドジョイントの防止、材料分離の抑制を図る。

↳ 技術提案の評価対象①。↳ 技術提案の評価対象②。↳ 技術提案の3項目目以降は評価の対象としない。

【提案項目及び内容】

	提案項目及び内容（記載順）	記載順に2項目目まで 評価可能	技術提案項目との 密接な関係		評価対象
1	密な配筋箇所への特殊バイブレーターによるコンクリートの充填性向上	○ (①-(1))	○	⇒	○
2	ハンチ箇所でのコンクリート流動性向上を図り、確実に充填するため透水性型枠シートを利用	○ (①-(2))	○	⇒	○
3	コンクリート充填・締固管理システムによる打設状況管理	× (①-(3))	○	⇒	×
4	広範囲な打設面でのディストリビューター利用によるコールドジョイント防止	○ (②-(1))	○	⇒	○
5	施工管理システムにより打設位置を管理（コールドジョイント防止に直接触れていない）	○ (②-(2))	×	⇒	×

## 2. 現場技能者の配置に係る対象資格の追加について

- 工事の品質確保及び担い手の中長期的な育成・確保の観点より、優秀な現場従事技能者の活用を図る事を目的として、これまで評価対象としてきた船団工事での登録基幹技能者等や、建設マスター(優秀施工者 国土交通大臣顕彰)、建設ジュニアマスター(青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰)に加え、「**特別港湾潜水技士**」を現場従事技能者として配置する場合（元請および下請）に対しても総合評価において加点する。（※ 各資格技能者との重複評価は行わない。）

### 【特別港湾潜水技士を配置する場合の対象工事】

原則、3名以上の潜水士による作業が見込まれる、捨石均し、ケーソン・ブロック等の据付等の工種が含まれる工事を対象とする。

### 【配置予定現場技能者の要件】

対象工事において、下請けの配置予定現場従事者（潜水作業管理従事者）が、特別港湾潜水技士の資格を保有していること。

### 【確認方法等】

登録基幹技能者等や建設マスター等と同様に、競争参加資格確認申請時に特別港湾潜水技士の資格を保有している配置予定現場従事者（潜水作業管理者）を配置すると表明した場合は、潜水作業管理者の氏名を施工計画書にて確認した上で、当該潜水作業管理者が当該工事に従事していることを工期中に確認するものとする。履行が認められなかった場合は、技術提案による不履行とは別に工事成績評定を－5点減点する。ただし、受注者の責によらない場合は、不履行の対象外とする。

### 【評価項目及び配点】

評価項目	配点	評価基準
「企業の能力等」 特別港湾潜水技士の配置	[0.5]or[1.0] ※発注型式による	・対象工事に特別港湾潜水技士を配置。
	0	・上記以外の場合

### 3. 同種工事实績の柔軟な設定について

- 「同種工事实績」を求める評価基準として、「より同種性の高い工事」「同種性の高い工事」の実績を求めている。総合評価落札方式における競争性の向上と担い手の育成・確保に資することを目的に、工事目的物の構造形式や工事量、施工条件等の特性を踏まえて、必要に応じ「同種性の高い工事」の数量要件を設けない柔軟な設定を行う。

#### 【対象工事】

工事目的物の構造形式や工事量、施工条件等の特性を踏まえて設定

海上における 異形ブロック据付	据付個数		
	1,820個/件 未満	1,820個/件 以上 2,600個/件 未満	2,600個/件 以上
評 価	(B)	(A)	(S)



海上における 異形ブロック据付	据付個数	
	2,600個/件 未満	2,600個/件 以上
評 価	(A)	(S)

### 4. 「表彰」名称の変更

- 「i-Construction大賞」 → 「インフラDX大賞」  
※令和4年度に改称されたことに伴うもの

## (業務関係)

1. 競争参加資格申請書及び技術提案書に関するヒアリングの実施方法(見直し)
2. 技術提案書の評価基準(見直し)
3. 申請書類添付書類の簡素化(見直し)
4. 申請者による業務費内訳書の任意提出(新規)

# 【業務】1. 競争参加資格申請書及び技術提案書に関する ヒアリングの実施方法(見直し)

1 / 1

- ・競争参加資格申請書及び技術提案書に関するヒアリングは対面若しくは電子メール等により行っているが、必要に応じてテレビ会議等により開催する場合がある。

## 1. 対象業務

- ・総合評価落札方式およびプロポーザル方式の全ての業務

## 2. 実施方法の選定

- ・実施方法は発注者が選定し申請者へ通知する。  
なお、同一業務における実施方法は全ての申請者に対して同じ方法とする。

## 3. テレビ会議等でのヒアリングの実施方法

- ・原則Microsoft Teamsによるweb会議形式とする。
- ・web会議アドレスは発注者から送信する。
- ・申請者は発注者が指定する名称でweb会議に参加するものとし、背景等を含め所属・氏名等が分からないようにすること。
- ・ヒアリング開始前に本人確認及びweb画面に申請者を特定できると考えられる情報が無いかを確認する。

## 4. 出席者

- ・技術指導者を配置する場合は、予定管理技術者単独の出席又は予定管理技術者と技術指導者両方の出席のいずれでも可とする。
- ・技術指導者を配置しない場合は、予定管理技術者とする。
- ・設計共同体で申請した場合は、予定担当技術者（代表者以外の構成員）の出席を求める場合がある。
- ・なお、予定管理技術者の他に管理技術者経験が少ない若手技術者1名を同席させることができるものとする。  
ただし、ヒアリングに関する発言は、予定管理技術者又は技術指導者が行うものとする。



# 【業務】2. 技術提案書の評価基準(見直し)

- ・技術提案書の評価の差異を設けるため、既に入札説明書に記載している評価の判断基準を一部を見直す。
- ・また、判断基準をより明確にするため、入札説明書に評価基準を掲載する。

## <評価基準の見直し及び公表(案)>

		判断基準	
実・施工程針表・実施のフロー	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。 A：目的、条件、内容を十分理解している。 B：目的、条件、内容を理解している。 C：目的、条件、内容の理解度が低い。	
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 A：実施フローの妥当性が高い。 B：実施フローが妥当である。 C：実施フローの妥当性が低い。	
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。 A：工程計画の妥当性が高い。 B：工程計画が妥当である。 C：工程計画の妥当性が低い。	
その他	有益な代替案、重要事項の指摘事項がある場合に優位に評価する。 なお、業務の目的が理解されておらず、実施フローや工程表の妥当性が著しく劣る場合は、評価しない。 A：有益な代替案、重要事項の指摘事項がある。 B：評価できる代替案、指摘事項がある。 C：代替案、指摘事項がない又は代替案等が当該業務に合致していない。		
評価(特定)テーマに関する技術提案	全体	技術提案書における複数の評価(特定)テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある場合等整合性がとれていない場合は評価しない。 A：複数のテーマ間の整合性が高い。 B：複数のテーマ間の整合性が図られている。 C：複数のテーマ間の整合性が低い。	
	評価(特定)テーマ	的確性	当局設定テーマに対する提案。 A：与条件を踏まえ、的確かつ具体的に記述されている。 B：与条件を踏まえ、的確に記述されている。 C：与条件が十分反映されていない。  着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。 A：本業務への有効性が高い。 B：本業務への有効性がある。 C：十分に整理されてない。又は整理されているが本業務への有効性が低い。
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 A：提案内容に十分説得力がある。 B：提案内容に説得力がある。 C：提案内容の説得力が不足している。  提案内容を裏付ける類似実績や本業務との関連性などが明示されている場合に優位に評価する。 A：提案内容を裏付ける適切な実績などが技術提案書に記載され、かつ本業務との関連が明確に記載されている。 B：提案内容を裏付ける実績が技術提案書に記載されている。 C：提案内容を裏付ける実績が技術提案書に記載されていない。又は、実績などが技術提案書に記載されているが、本業務と全く関連がない。

### 凡例

- 赤字：判断基準の見直し箇所
- 青字：評価基準の公表(案)

・競争参加資格確認申請時において、全ての発注方式において添付書類の**更なる**簡素化を図ることとする。

【現行（令和3年度から）】

- ①業務実績情報システム(TECRIS)により業務実績が確認できる場合は、登録内容や契約書の写しの添付不要。  
但し、登録されていても、登録実績データにおいて要件が確認できない場合は、契約書及び特記仕様書等の資料を添付すること。
- ②地方整備局(港湾空港関係)発注の業務で請負業務成績表評定点を得ているものは、業務成績表の添付不要。
- ③優良表彰等の実績における、表彰状の添付不要。

【追加】

④災害活動への表彰・感謝状を除く、表彰等の実績の記載を不要。

## <入札説明書の見直し(案)（総合評価落札方式の例）>

総合評価落札方式（簡易型）

入札説明書

北陸地方整備局〇〇〇事務所の〇〇〇〇〇〇業務に係る入札公告（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く））に基づく一般競争入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

※本業務は、技術提案等を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の業務である。

1. 公告日 令和 年 月 日

6. 競争参加資格確認申請書の提出等

2) 競争参加資格確認申請書の作成及び記載上の留意事項

(1) 競争参加資格確認申請書内容の留意事項

記載事項	内容に関する留意事項
配置予定管理技術者の資格及び実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <del>北陸地方整備局（港湾空港関係）発注の平成〇年度から令和〇年度までに完了した業務のうち、〇〇業務に係る優良建設技術者表彰の実績を記載する。</del></li> <li>・ 北陸地方整備局（港湾空港関係）発注の令和元年度から令和4年度までに完了した業務のうち、〇〇業務に係る災害対策関係功労者表彰・感謝状の実績を記載する。</li> <li>・ <del>令和元年度から令和4年度に受賞した海外インフラプロジェクト技術者表彰（大臣賞・奨励賞（港湾空港関係））の実績を記載する。</del></li> <li>・ 配置予定管理技術者の災害協定に基づく活動実績に対する表彰状又は感謝状の写しを提出すること。なお、所属企業宛の表彰状又は感謝状の場合は、管理技術者又は担当技術者として携わっていたことを証明できる書類（体制図等）を合わせて提出すること。</li> </ul>

## <申請様式の見直し(案)（総合評価落札方式の例）>

(様式-3)

・ 予定管理技術者の経歴等

ふりがな		②生年月日	
①氏名			
③所属・役職			
⑦表彰等災害活動への表彰・感謝状の実績			
表彰等の有無	業務名	表彰年月日	表彰者（注4）

注4) 災害協定に基づく活動実績に対する表彰状又は感謝状の写しを提出すること。なお、所属企業宛の表彰状又は感謝状の場合は、管理技術者又は担当技術者として携わっていたことを証明できる書類（体制図等）を合わせて提出すること。

・見積参考資料の改善に資するため、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した内訳書のご提出(任意)にご協力をお願い致します。

## 1. 対象業務

・総合評価落札方式の業務

## 2. 業務費内訳書の取扱い

・提出の有無により入札契約手続きにおいて優劣をつけるものではありません。  
 ・記載ミス等がある場合でもペナルティはありません。

## 3. 業務費内訳書の様式

・様式は自由ですが、入札説明書等に添付する様式を参照ください。(右様式参照)  
 なお、様式は港湾空港部ホームページでも公開します。  
 ・記載内容は見積参考資料に対応した項目(レベル6)としてください。

## 4. 提出方法

・入札書提出期限までに電子メールにより電子データで提出してください。  
 なお、パスワードを付す等、情報漏洩対策を行ってください。

## 5. 入札書提出期限及び開札日

・入札書提出期限日における締切時間を、従来の16時から12時に変更します。  
 ・開札日は入札書提出期限日から中2営業日を設定します。

## 6. 当局における資料の取扱い

・提出された内訳書の取り扱いには十分注意し、漏洩防止を徹底致します。

## (様式) 業務費内訳書のイメージ

### 測量・調査

### 業務費内訳書

業務名									
業務区分	工種	種別	細別	積算要素(名称)	規格・形状寸法	単位	数量	単価	金額
(例)									
直接測量費									
測量業務	測量業務	深淺測量	水深測量	音響測深	港外 測線間隔○m				
					港内 測線間隔●m				
				***	***				
					***				
諸経費									
測量作業費									
測量業務価格									

### 建設コンサルタント等

### 業務費内訳書

業務名									
業務区分	工種	種別	細別	積算要素(名称)	規格・形状寸法	単位	数量	単価	金額
(例)									
直接原価									
〇〇業務	〇〇業務	〇〇検討	計画準備	計画準備					
			〇〇検討	***	***				
					***				
直接人件費									
直接経費									
その他原価									
業務原価									
一般管理費等									
業務価格									

1. 入札説明書における各種手続期限等の一覧表示(見直し)

# 【共通】1. 入札説明書における各種手続期限等の 一覧表示(見直し)

・入札説明書における各種手続期限等について、現行は文章中に記載しているが、今後は一覧表形式で明示する。

## <現行（入札説明書記載例）>

### 3. 業務概要

○) 本業務は、競争参加資格確認申請書を提出した者に対し、見積参考資料（金抜き設計書）を開示する業務であり、令和〇〇年〇月〇日（〇）までに見積参考資料（金抜き設計書）の開示を行う。

### 11. 入札及び開札の日時及び場所

#### 1) 入札書提出期限

① 電子入札システムによる場合

：令和〇〇年〇月〇日（〇） ●時●分

② 紙により持参する場合

：令和〇〇年〇月〇日（〇） ●時●分

#### 2) 開札日時

令和〇〇年〇月〇日（〇） ●時●分

## <見直し（一覧表イメージ）>

見積参考資料（金抜き設計書）開示日	令和〇〇年〇月〇日（〇）
競争参加資格確認申請書の提出期間	令和〇〇年〇月〇日（〇）から令和〇〇年〇月〇日（〇）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時00分から16時00分、並びに令和〇〇年〇月〇日（〇）9時00分から12時00分まで。
競争参加資格の有無の通知	令和〇〇年〇月〇日（〇）を予定する。
入札説明書の内容についての質問受付期間	令和〇〇年〇月〇日（〇）から令和〇〇年〇月〇日（〇）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から16時00分まで。
競争参加資格確認申請書及び技術提案書に関するヒアリングの実施期間	令和〇〇年〇月〇日（〇）から令和〇〇年〇月〇日（〇）
履行確実性に関する追加資料を提出すべき旨の連絡	令和〇〇年〇月〇日（〇）〇〇時〇〇分まで
履行確実性に関する追加資料の提出期限	令和〇〇年〇月〇日（〇）〇〇時〇〇分まで
入札書提出期限	① 電子入札システムによる場合：令和〇〇年〇月〇日（〇） 〇〇時〇〇分 ② 紙により持参する場合：令和〇〇年〇月〇日（〇） 〇〇時〇〇分
開札日時	令和〇〇年〇月〇日（〇） 〇〇時〇〇分